



皆さん。最近、笑ってますか。

木喰

「もくじき」

生誕290年 木喰展 —庶民の信仰・微笑仏—

2008年

6月27日(金)~7月24日(木)

*会期中無休

【開館時間】午前10時~午後8時(最終日は午後5時閉館)入館は閉館の30分前まで

【入館料】大人1,000(800)円／大学・高校生800(600)円

中学生以下無料

※開館料は、1人1回の料金です。複数回の場合は、別途料金を支払う場合があります。

■主催:財団法人そごう美術館 ■後援:神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会 ■協力:全国木彫研究会

地蔵菩薩
日本代表作

そごう美術館 [横浜駅東口
そごう横浜店6階]



SOGO
横浜

電話 045(465)2111 大代表

「円空」から約一世紀。ひとりの僧侶が、仏像彫りの旅に出る。一生涯を捧げた全国行脚を終えて彼が振り返った時、そこにあったのは庶民の熱狂と、満面の笑みをたたえた千体の仏像群だった。



木喰

生誕290年 木喰展



江戸時代後期、日本全国を行脚して、各地できまざまな仏を彫り続けた木喰上人。享保3(1718)年、甲斐国(現在の山梨県)の山村に生まれた木喰は、22歳で出家し、56歳のとき諸国巡礼の旅に出て、その後60歳を過ぎてから仏像作りを始めます。木喰が訪ねた地域は、北海道から九州、四国、佐渡島に及び、生涯に1000体を超える像を造したといわれています。木喰による仏は、従来の仏教彫刻の様式にとらわれない独創的な作風で、それらのなかには口元にかすかな笑みを浮かべたものが多いことから、「微笑仏(みしょうぶつ)」と呼ばれて、広く庶民の信仰を受けました。

2008年は木喰生誕290年にあたり、本展は仏像約130点、資料約30点を展覧する10年ぶりの大回顧展となります。全国各地の神社仏閣や個人宅に秘蔵されてきた木喰仏を一堂にご覧いただき、その魅力に触れるまたとない機会といえるでしょう。

特別対談「柳宗悦が発見した木喰」

山下裕二(美術史家・明治学院大学教授) × 尾久彰三(日本民芸館学芸員)
●日時／7月6日(日)午後2時から ●場所／そごう美術館展示室内 ●定員／80名
●参加費／無料(ただし、入館料が必要となります) ●参加方法／7月6日(日)午前10時から、そごう美術館入口にて座席整理券を配布します。

ギャラリートーク(学芸員による作品解説)

●毎週土曜日午後2時から



そごう美術館 [横浜駅東口] 郵便番号 220-8510 横浜市西区高島2-18-1
電話045(465)5515(美術館直通)
<http://www.sogo-gogo.com/museum/>